

(6) 研究構想図

令和8年度 川北町立中島小学校 研究構想図

協同

進取

勤勉

研究主題

自分事として学び続ける中島っ子の育成  
～数学的な見方・考え方を働かせ、高め合う授業づくり～

〈算数科でめざす子どもの姿〉

- 導入 数学的な見方・考え方を働かせながら解決の見通しをもって「やってみたい!」と動き出す子
- 深い学び 「だって!」と論理的に語り、納得がいくまで自分の考えを更新し続ける子
- ふり返り 学びの価値を実感し、「次はこうしたい!」と新たな展望を描く子

中島っ子授業スタイル

	児童(学び続ける)	教師(見取りと支援)
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を見つけ見通しを持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題をイメージさせる 既習との違いに着目</li> <li>知的好奇心を生む問題提示 (学びを自分事に)</li> <li>児童の実態把握</li> </ul>
深い学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別と協働により自ら学ぶ</li> <li>根拠を持って説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個の状況、困り感を把握する</li> <li>個をつなげる</li> <li>数・式、図、表、グラフなど行き来しながらアウトプット</li> </ul>
ふり返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びを自覚化</li> <li>学びを自己調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーワード提示</li> <li>視点を与えより良い内容に (次へと展望・生活へとつなげる)</li> <li>教師の見取り→次時へ</li> </ul>

教材研究の力

- 働かせたい数学的な見方・考え方
  - つけたい力の明確化→具体の姿→評価問題の設定
  - 適切なレディネス(個の見取りの開始)

見方・考え方を働かせる単元づくり

- 目指す姿と児童の実態の差から手立て
- 内発的動機付けを生む導入の工夫
- 思考の流れを想定 ・C→B、B→Aへ
- 知・技を生かす思・判・表の授業の位置づけ
- 見方・考え方に気づかせる発問の準備

時間確保

- 学びタイム
- 個人
- ペア学年
- 全体

教師の手立て

数学的な活動

- 活動の準備
- 児童から引き出したい言葉を明確に
  - 「だって」と言いたくなる教師の問い返し

学習形態の工夫

- アウトプットの場面
- 個別と協働→自分で選択し往還

板書の工夫

- 思考の流れ
- 比較できる
- ポイントの明確化

児童の技能

- 自分で学習
- 形態・学習
- 環境を選択

学習の基盤となる資質・能力

言語能力

- 辞書の活用
- 読書活動の充実

情報活用能力 デジタル学習者

- デジタル学習基盤の活用  
(ふりかえりや板書を蓄積)

問題発見・解決能力

- 総合的な学習(探究活動)
- 学校行事・児童会活動
- 学びをつなげる家庭学習

生徒指導部

- 安心・安全な居場所

- 自己決定
- 自己存在感
- 共感的な人間関係
- 安全・安心な風土の醸成

教務部

- 基礎学力の向上

- 朝学習の活用  
漢字・計算・作文・タイピング
- 読書
- 家庭学習の自己調整

保健体育部

- 自己管理能力の育成

- レベルアップ週間
- 継続した体力づくり